

## 技術・家庭科シラバス（第3学年）

### 指導の方針

#### ○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

体験的な授業、繰り返し学習を重視するなど、個に応じた指導を発達段階に応じて徹底して習得させ、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。

#### ○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

小グループでの話し合いを通して言語活動の充実を図る。

図や計画表などを使い、表現活動も充実するような課題を設定する。

#### ○学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

新授業六束を徹底させ、チャイム前着席や提出物、学習規律の確立を図る。  
生徒の工夫し創造する力を高められるよう個が活かせる授業の設定や掲示の充実を図る。

### 評価の観点と評価規準

#### 評価と評定の関連

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、生活と技術とのかわりについて理解しているとともに、適切に作品作りを行うことができる。	生活について問題を見出し、課題を見つけ、その解決を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生活や技術について課題解決に主体的に取り組んだり、振り返ったり改善したりして、生活を充実向上するために、工夫し創造し、実践しようとしている。
評価資料	・テスト ・ワークシート ・レポート ・ワーク ・作品 ・実習の様子	・テスト ・ワークシート ・レポート ・ワーク ・授業や実習の様子	・テスト ・ワークシート ・レポート ・ワーク ・授業や実習の様子
評価の方法	・定期テストの結果を評価する。 ・ワークシート、ワーク、レポートの記載内容を評価する。 ・製作品の出来を評価する。 ・実習中の実技の能力を評価する。	・定期テストの結果を評価する。 ・ワークシート、ワーク、レポートの記載内容を評価する。 ・授業中の言動を評価する。	・定期テストの結果を評価する。 ・ワークシート、ワーク、レポートの記載内容を評価する。 ・授業中の言動を評価する。

## 評価と評定の関連

※評定（5段階）は、各観点の評価（A<sup>マル</sup>O=5点、A=4点、B=3点、C<sup>マル</sup>O=2点、C=1点）をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表（例）のとおりです。

各観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	評定
<sup>マル</sup> A O <sup>マル</sup> A O <sup>マル</sup> A O	15点	<sup>マル</sup> A O <sup>マル</sup> A O A	14点			5
<sup>マル</sup> A O A A	13点	A A A	12点	<sup>マル</sup> A O B B	11点	4
A B B	10点	B B B	9点	B B C <sup>マル</sup> O	8点	3
B C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O	7点	C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O	6点	C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O C	5点	2
C <sup>マル</sup> O C C	4点	C C C	3点			1

## 学習内容と評価のめあて（3年）

	月	学習内容	指導のめあて
家庭	6	技術・家庭科ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術・家庭科の教科としての特徴を知る。</li> <li>生活を豊かにする考え方や態度、技術の習得</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族や家庭生活のかかわり。</li> </ul>
分野	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の生活と遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の発達と生活の特徴、家族の役割</li> </ul>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児と遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの種類、意味、人との関わり</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児のおもちゃの製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的、社会的な生活習慣を知る。</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の生活習慣</li> <li>子どもの成長と地域</li> <li>これからのわたしと家族</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の発達を支える家族の役割を考え、理解する。</li> <li>これからの自分と家族の関わりについて考える。</li> </ul>
1	【身近な消費生活と環境】	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者トラブルについて知り、消費行動を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売方法の特徴、物資、サービスの選択、購入及び活用を知る。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活のトラブル</li> <li>消費者権利と責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の基本的な権利と責任を知る。</li> </ul>	

技 術 分 野	4	【情報に関する技術】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートカットキーなどの基本的な PC の操作 法を理解し、適切に操作することができるよ にする。</li> <li>・日常生活の中でどのようなセンサが使われてい て、そのことでどのように便利になっているか を知る。</li> <li>・フローチャートの基本的な意味を理解している。</li> <li>・フローチャートを用いた情報処理の手順を考え、 簡単なプログラムが作成し、制御することがで きる。</li> <li>・将来に向けて生活と情報技術のかかわりについ て考える。</li> </ul>
	5	・制御とは	
	6	プログラムによる計測・制御	
	7	プログラム設計	
	9	・順次処理のプログラム設計	
	10	・反復処理のプログラム設計	
	11	・分岐処理のプログラム設計	
	12	・これからの情報技術	
	1		
	2		

3年生は、技術分野と家庭分野を通年各週で実施します。